

# 大草津展

草津市立草津宿街道交流館  
開館20周年記念

## 草津宿街道交流館開館20周年記念展 歴史編

草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031

### 「東海道草津宿～街道と旅の資料から」

草津宿街道交流館は今年で開館20周年。これを記念して、今年度は3つの20周年記念展示を開催します。皮切りとなる第1弾は歴史編。草津宿街道交流館のメインテーマでもある草津宿と旅・街道について紹介します。

草津が徳川家康の掌中に収められたことを示す「福島

正則禁制」をはじめ、大名などが休泊した草津宿本陣資料など、草津宿のベーシック情報を紹介します。また、道中記や街道や宿場を描いた風景図など、街道や旅にかかわる新出資料から、江戸時代の旅についても紹介します。

① 6月1日(土)～7月15日(月・祝) ※月曜日休館(祝日の場合は翌日)

② 入館料(土曜日は小中学生無料)

### 関連事業「くさつ・歴史発見塾」

開館20周年記念展にちなんだ内容で開催します。

所 ②は史跡草津宿本陣

定 各50人(先着順)

料 各500円

他 ②は、本陣楽座・落語会と同日・連続開催。両方に申し込むと割引あり。詳細はお問い合わせください。

申 6月7日(金)～

とき	キーワード	講師
① 7月20日(土) 10:00～11:30	宿場	水本 邦彦さん (京都府立大学 名誉教授)
② 8月3日(土) 15:30～16:30	絵画 (浮世絵)	横谷 賢一郎さん (大津市歴史博物館 学芸員)

## くさつ 歴史ギャラリー 140

### ～街道の歴史文化～ 江戸より長崎迄道中図

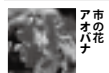
街道を描く絵図の中で最も多く描かれたのが東海道です。江戸時代には参勤交代の行列をはじめ、多くの旅人が行き交う街道であったことが、描かれた要因であると思われます。今回紹介するのは、特に表題はありませんが、江戸時代に描かれた、いわゆる「江戸より長崎迄道中図」と称される絵図です。江戸から大坂までの東海道に加え、瀬戸内海沿いを往く山陽道、さらに関門海峡を渡って長崎までの長崎街道を描いた紙本着色で、2巻からなり、長さは合わせて約14メートルもあります。こうした道中図は、宿場や街道を部分的に切り取って描いた浮世絵などと異なり、街道の全体像がうかがえる資料です。ただ、浮世絵などのように大量に版行されたものでなく、手書きで描かれており、九州まで描かれたものは九州の大名などの求めに応じて作られたとも考えられます。描写を見ると、江戸城は五層の天守が描かれ、道中の城下にも天守や家並みが、また道中の山河や橋梁、宿場なども描かれ、街道には所々に



▲江戸長崎道中図(部分) 草津市蔵・うばがもちやコレクション

旅人や荷物を運ぶ馬などもみえます。一方、海には帆を立てた船も浮かび、陸路とともに海路も描かれています。草津あたりの描写に目を向けると、東海道の宿場から分かれた美濃路を経て、近江の中山道が合流するところや、立木神社、矢橋の渡し場なども描かれています。いずれも、彩色が施され、江戸時代の街道の様子が目に浮かぶような資料です。草津宿街道交流館20周年記念展示「東海道草津宿く街道と旅の資料から」(6月1日～7月15日)で初めて展示します。江戸時代の沿道風景をぜひご覧ください。

4月30日現在(対前月比) 人口134,535人(+311) 男67,478人(+178) 女67,057人(+133) 世帯数59,013世帯(+322)



広報くさつ・くさつ市議会だよりは、スマートフォン用アプリでも配信中

